

追加提出議案

委員会付託を省略し審議

議案第53号

財産の取得の件

つがる市総合体育館施設備品

(仮設ステージ)

取得価格2970万円

議案第54号

財産の取得の件

つがる市総合体育館施設備品

(イス・テーブル)

取得価格2365万円

議案第55号

財産の取得の件

つがる市総合体育館特別用具

(多目的液晶得点システム)

取得価格2860万円

◎市総合体育館に設置する施設備品・特別用具を購入するものである。

木村 良博 議員

○ 来年1月に体育館は完成し、

6月から供用開始予定である。児童・生徒から利用料を徴収するか、しないのか等で、運営収支は変わる。早く運営計画の詳細を知りたいが、運営する指定管理者はいつ決まるのか。

【市長】

○ 公募の予定なので、今後、管理運営の考え方や指定管理団体の規模を決定し、9月議会で説明したい。

長谷川 榮子 議員

○ これら3件のほか、今後の購入予定は。

【社会教育スポーツ課長】

○ 今回提出した議会の議決が必要な2000万円以上の3件以外に10件の入札を行っている。予算額は約1億7000万円、これにより当初予算で計画した備品は全て揃うものである。

【全国市議会議長会表彰】



6月定例会閉会后、永年勤続された議員に表彰状が伝達されました。

◎20年表彰

- ・平川 豊
- ・佐々木慶和
- ・佐々木直光
- ・佐々木敬藏

◎15年表彰

- ・佐藤 孝志
- ・木村 良博
- ・成田 博
- ・長谷川榮子
- ・小笠原 忍

※ 町村議会の在職期間は実年数の1/2に換算されます。

「国立アイヌ民族博物館」 行政視察報告

5月23、24日、北海道白老町に創設されたアイヌ文化の展示や調査研究などに特化した国立博物館等を議員17名（欠席1名）で行政視察しました。

白老町は本市と姉妹都市提携を締結しており、コロナ禍の前は、毎年両市町の児童交流事業などを行っています。

当初は、2020年7月12日の開館後、早い段階で視察する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により約2年越しの訪問となりました。



5月23日

白老町を表敬訪問。はじめに戸田白老町長から「白老のアイヌ文化とつがる市の縄文文化で連携していきたい」と歓迎のあいさつがあった。当市からは野呂議長、今回同行した倉光市長のほか、参加した全議員が「アイヌ文化の知識を深めたい」「白老町に来ることができうれしい」「博物館を楽しみにしている」などとあいさつした。その後、白老町議会議員14名全員参加の懇親会を開催し、交流を深めるとともに、お互いの議会活動について活発な意見交換を行った。



戸田白老町長



あいさつする野呂議長



表敬訪問した議員団

5月24日

国立アイヌ民族博物館を訪問。平日にもかかわらず、午前9時の開館時間前から多くの方が訪れていた。博物館はウポポイと呼ばれる民族共生象徴空間の一施設であり、敷地内には民族料理や楽器の演奏を楽しむことのできる体験施設もあり、関東圏の修学旅行生等で混雑していた。議員団は施設職員より施設概要等の説明を受けた後、展示資料等を観覧し見分を深めた。



博物館前にて



担当者の説明を受ける



展示資料を観覧